



あしたの賃貸
プロジェクト

あしたの賃貸プロジェクト第4回シンポジウム

ごちゃまぜコミュニティ



自分らしく暮らせる賃貸住宅

2023 **11/28** Tue. 13:00-17:20

参加費無料 (事前登録制)

今回の第4回シンポジウムでは、賃貸住宅だからこそできる役割に注目いたしました。賃貸住宅がまちづくりの要となり、地域に開かれコミュニティの醸成力によって誰とでもつながることができるなど、あらためて、賃貸住宅の力をみなさまとともに考える契機といたく、基調講演ではまちの価値向上に資する賃貸住宅とは何か、事例講演では、賃貸住宅を舞台にして、さまざまな人がつながることによって、社会的課題を解決されている事例について、ご講演をいただきます。

13:05-13:55 基調講演 まちの価値向上の真ん中にある賃貸

まちの価値の向上は単に地価高騰を意味しない。現に、地価が高止まりする高級住宅地では、高い固定資産税、相続税と、地域の超高齢化に苦しんでいる。本当のまちの価値向上に資する賃貸住宅とは何かを探る。



大月 敏雄
東京大学大学院
工学系研究科建築学専攻 教授

13:55-14:15 あしたの賃貸レポート 入居者ものがたり

住み替えとともに、住居費がどのように変化しているのか、賃貸住宅への入居者のさまざまな需要を具体例から解きほぐし、これからの自分らしく暮らせる賃貸住宅の役割を提案したい。



松本 真理
一般財団法人住宅改良開発公社
住まい・まち研究所 所長

14:20-15:00 事例講演 アンダンチ：ヤギと子供の声と、多様性にかかれた地域の縁側

「福祉」からの地域づくりを掲げた福祉複合施設「アンダンチ」の成り立ちや今後の展望を含めた取り組みとその効果についてお伝えします。



福井 大輔
株式会社未来企画
代表取締役

15:00-15:50 事例講演 尼崎市「REHUL」プロジェクトの挑戦と今・これから

①「REHUL」～事業の仕組みと尼崎市が目指したもの

尼崎市では、建替え予定である市営住宅の募集を停止しており、空き家の増加と入居者の減少、それに伴う自治会の停滞化といった課題が生じたため、空き家を活用した「REHUL」事業を開始し、課題の解決に努めています。尼崎市から事業の仕組みや特徴などについてご紹介します。

②居住支援の隙間の支援

2015年に地域の方からこども食堂の食材支援について相談を受ける。その食材支援をきっかけに、困難な立場にある方を支援されている諸団体との連携が広がり、地域からの要望も食の提供から住まいの提供に変化していく。そんな折、尼崎市住宅政策課から建替え予定の市営住宅空き家活用のご提案をいただき、「REHUL」事業の取り組みに至る。



秋岡 修司
尼崎市都市整備局
住宅部 住宅管理担当 課長



前田 裕保
生活協同組合コープこうべ
第1地区本部 本部長

15:50-16:30 事例講演 「遠くのシンセキより、近くのタニン」～暮らしの選択肢を増やす“おせっかい”な不動産屋～

「はっぴーの家ろっけん」を運営する株式会社Happyは、不動産事業(賃貸/売買/空き家活用等)を中心に、就労支援や介護・看護、アウトドア事業やサウナ事業など幅広い事業を行っている。「こんな場所があったらいいのに」という目の前の人の願いに応えていくことが、街全体を、豊かで楽しく暮らせる場所に変わっていく、という取り組みをご紹介します。



首藤 義敬
株式会社Happy
代表取締役社長

16:40-17:20 質疑応答&クロストーク

視聴者のみなさまから寄せいただいた質問に、講演者が生で回答させていただきます。

主 催 一般財団法人 住宅改良開発公社
後 援 独立行政法人 住宅金融支援機構
一般社団法人 全国住宅供給公社等連合会
一般社団法人 プレハブ建築協会
公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会

ご参加には事前申込が必要です。

お申し込み締め切り:11月27日(月) 24:00

最新情報はWebサイトをご覧ください。
<https://ashitanochintai.jp/symposium4/>



YouTube
にて
ライブ配信